

借金し積立て15億

今 定例会は、平成21年度の決算を審議するため特別委員会を設置、一般会計のほか特別会計、水道事業会計など慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

歳入は、町税の個人分はほぼ20年度並みでありましたが、法人分は自動車関連企業をはじめとする主要企業が、業績不振となり、全体として20年度比6億7667万円（7・8％）減しました。

なかでも繰入金が20年度比約2億円（622・5％）の大幅増となったのは、新駅設置事業の本格化により、都市施設整備基金から繰入れたものであります。

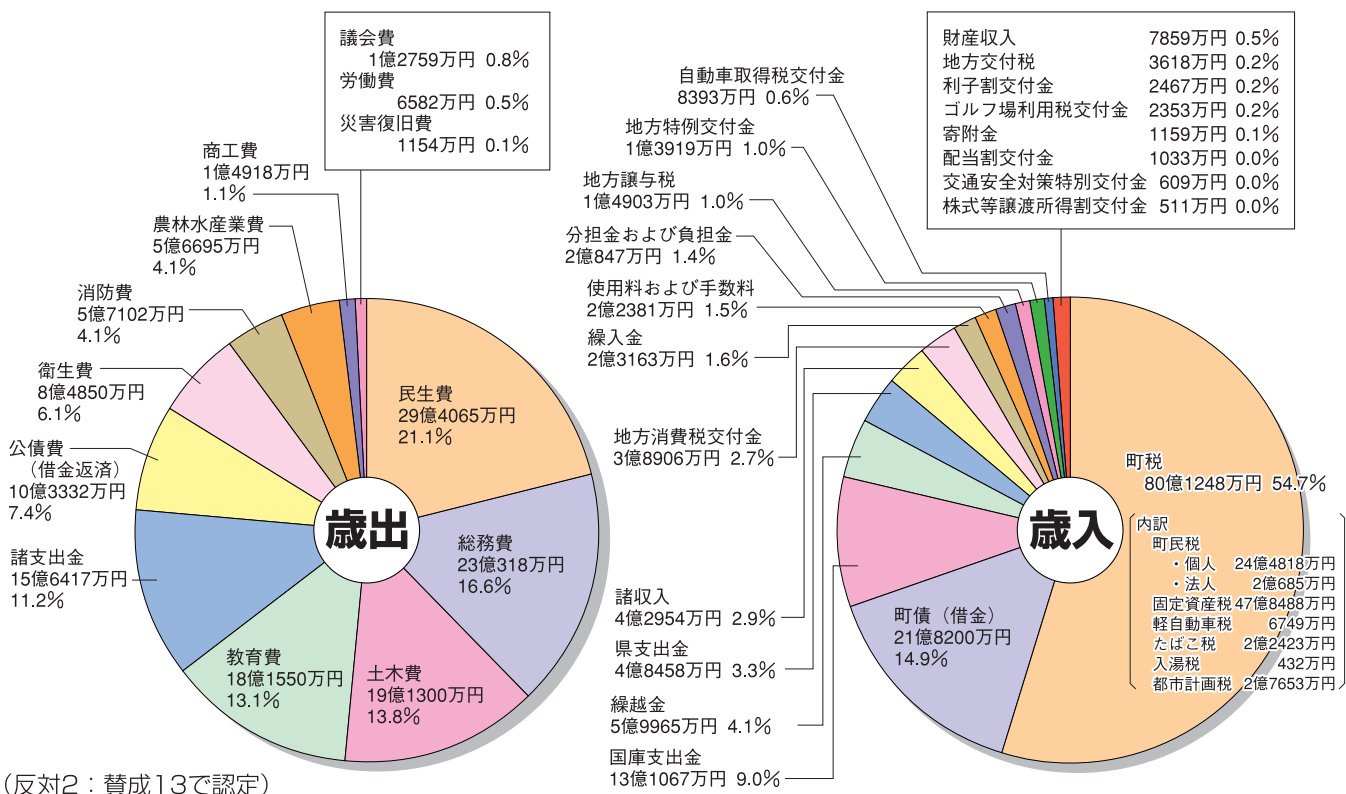
歳出では、新駅周辺整備事業、給食センター移転改築事業、新駅および自由通路設置事業など、補助事業が計画どおり実施されました。

積 立金を15億8101万円おこない、年度末残額を66億4285万円とし、長引く経済不況にそなえました。

なお、平成21年度の決算総額は、一般会計、特別会計を合わせて、歳入209億4435万円、歳出200億7926万円となりました。

一般会計の決算額

歳出 139億1042万円 **歳入** 146億4013万円



平成21年度決算 税減収

将来にそなえ

主な質疑

- Q** 個人町民税の予算把握と収入済額の差が、過去最大となったが、適格な見積りを。
- A** 税収入の見込み誤りがあった。留保財源づくりの意図はない。
- Q** 特別交付税が今回増となった理由は。
- A** 緊急経済対策が、年度末になり、間に合わなかったので、補正で対応した。
- Q** 町税の滞納整理対策は。
- A** 個々の事情を勘案し対応していく。
- Q** 国民健康保険税の減免対策は。
- A** 窓口での指導や、広報・ホームページで周知していく。
- Q** 救急車と消防車が、同時に出勤する基準は。
- A** 心肺停止など重症や、3階以上に搬送者がある場合、また交通整理を必要とする場合などに出勤する。
- Q** 女性消防クラブの成果は。



開通した野場横落線（地藏堂地内）

- A** 消防署員と一緒に一人暮らしの高齢者宅を訪問をしている。
- Q** 緊急通報のシステムの利用状況は。
- A** 96人設置している。
- Q** 農地災害の指定寄付金は、廃止すべきである。
- A** 農業施設の負担はないが、農地は土地改良区が施行し、町が9割の補助をしているので廃止の考えはない。
- Q** グリーンベルト化の設置の計画は。
- A** 平成21年度は荻谷小学区で実施した。22年度は中央小・幸田小の学区で実施し、その後も順次すすめていく。

主な事業

- ・新駅周辺整備事業 2億8815万円
- ・給食センター移転改築 2億7342万円
- ・新駅および自由通路設置事業 2億3426万円
- ・町民会館借地解消 9594万円
- ・障害者地域活動支援センター建設 8373万円
- ・救助工作車更新 6471万円
- ・道路新設改良（野場横落線） 8897万円

特別会計・企業会計の決算額

会 計 名		歳 入	歳 出	採決の状況
特別会計	土 地 取 得	4億6078万円	4億3601万円	全員賛成で認定
	国 民 健 康 保 険	26億7044万円	26億2467万円	反対2：賛成13で認定
	老 人 保 健	735万円	538万円	反対2：賛成13で認定
	後 期 高 齢 者 医 療	2億3394万円	2億3305万円	反対2：賛成13で認定
	介 護 保 険	12億2953万円	12億661万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前土地区画整理事業	3億8044万円	3億5954万円	全員賛成で認定
	農 業 集 落 排 水 事 業	4億4161万円	4億3391万円	反対2：賛成13で認定
	下 水 道 事 業	8億8013万円	8億6966万円	反対2：賛成13で認定
企業会計	水道事業会計	収益的収支	6億6543万円	反対2：賛成13で認定
		資本的収支	1億6549万円	